

令和6年度 共同生活援助 地域連携推進会議議事録

実施 日時	令和6年9月30日(月)	司会者	地域支援課 課長
	13時15分 ~ 16時15分	記録者	地域支援課 総括主査
出席 者	<p>【構成員】5名 入居者代表・・・・・・・・・・1名 (一般就労者) 地域の関係者・・・・・・・・・・1名 (町内会長) 福祉に知見のある人・・・・・・2名 (生活介護事業所管理者) (相談支援事業所管理者) 市町村担当者・・・・・・・・・・1名 (秋田市障がい福祉課職員)</p> <p>【施設職員】6名 管理者(園長)、管理課長、支援課長、地域支援課長、地域支援係長、地域支援総括主査</p>		
	<p>※入居者家族(1名)は、当日出席の予定であったが、都合により急遽欠席。 10月10日に施設見学と会議の概要説明を行った。</p>		
協 議 内 容	1. 管理者(園長)挨拶		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携推進会議の趣旨として、施設の運営に当たり地域の皆様から理解・連携をいただくことにより、利用者さんと地域の方の関係作り、地域の方への施設や利用者への理解の促進を目的としている。更なる支援サービスの向上のため忌憚のない意見をいただきたい。 ・施設の概要及び令和5年度の決算状況、ハイクオリティサービス等についての説明。 		
	2. 構成員の紹介		
	3. 議題		
	①施設等・地域の連携		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の障がい状況等について 		地域支援課長
	<p>高清水園で運営している共同生活援助事業所(介護サービス包括型)について、入居者様への支援内容や世話人・支援員の体制、支援区分、就労状況等について説明した。</p> <p>現状として健康維持のための支援の度合いが年々増加しており、それに伴った通院等に関わる業務の増加など、どのように適切に対応していくかが課題と感じている。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣からの苦情等について 		地域支援課長
	<p>今年度は近隣からの苦情は特になし。今までには入居者様の唐突な話しかけにより近隣の</p>		

協	<p>学校へ通う生徒を驚かせてしまったり不安にさせてしまったことなど、不適切だと思われる行動によって関係機関に迷惑をかけた事案もあった。都度、話し合いや助言をいただき最良の方法を取るに至った。地域で暮らすにあたり様々な事象に遭遇すると思われるが、入居者様にとっての成功は自信に変わり、失敗は経験になるような支援を職員一同心掛けていきたい。</p>
	<p>・地域行事への参加について (情報交換) 総括主査</p>
	<p>GHの入居者の方は日中は基本的に就労や各事業所へ通所しているため、主に休日にイベント等へ出掛けている。イベント等の情報は各自で得たり、サポートセンターからも情報提供を積極的に行っている。今年の夏は竿燈祭りや花火大会なども楽しんだ。今後は秋田市のマラソン大会への出場、GH周辺のクリーンアップ等を予定している。入居している方々がそこに住んでいる住人として町内会や地元の行事等に参加できれば良いと思う。</p>
	<p>・自己評価について 総括主査</p>
	<p>自己評価について説明し、今年度の取り組み状況を報告した。</p>
内	<p>②施設等やサービスの透明性・質の確保</p>
	<p>・入居者様の日常生活の様子について 係長・総括主査</p>
	<p>日中は一般就労、就労支援事業所、生活介護事業所へ通所している。休日は単独で外出可能な方はバス等の交通機関を利用して地域のイベントを楽しみ、単独での外出が難しい方は職員付添で、ドライブ外出・理髪・買物・レンタルDVDなどの対応を支援している。</p>
	<p>・就労状況や賃金、事業所訪問等について説明。就労先で頼りにされ、シフト外の「応援勤務」を行っている方もいる。</p>
	<p>・経営状況の報告について 管理課長</p>
容	<p>昨年度の決算書、今年度の収支状況の推移に基づいて説明した。欠員や物価高騰の影響がある。</p>
	<p> </p>
	<p> </p>

協	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）の策定状況について 管理課長
	<p>サービス認可区分ごとに計画を作成、災害版と感染症版それぞれを策定している。昨年7月の</p> <p>水害時の状態や避難状況について説明した。</p>
	<p>3. 入居者様の権利擁護</p>
議	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止の報告 地域支援課長 <p>令和6年8月に第1回虐待防止チェックリストを実施。集計結果について説明。今後の取り組みを検討し、園全体と各部署の現状に即した取り組みの実施について動いている状況である。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、ヒヤリ・ハットの報告 係長 <p>今年度発生したヒヤリ・ハットについて内容及び防止策等について説明した。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の様子 係長 <p>サポートセンター職員、世話人の業務について説明。土日の日中活動の支援については介護度の高いGHに関してサポートセンター職員が主に食事や身の回りの支援を行っている。</p>
内	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の今後の方向性 係長 <p>高齢化、身体機能の低下が見られる方もおり、将来的な生活の場を検討する時期にきている。</p> <p>他のGHや一人暮らし、他事業所での就労等への要望については、担当職員、サービス管理責任者、相談支援専門員も含めて今後の生活について話し合いを行って対応している。</p>
	<p>4. 意見交換</p>
	<p>(入居者代表) 朝早く起きて頑張って会社に行っている。今のGHは静かな環境で自分としてはいいなと思っている。仕事は楽しいが、思うようにいかず難しいと感じたり、新しいことに関しては不安もある。今日の会議は緊張して何を話せばいいかわからないが頑張ろうと思って来た。</p>
容	<p>(地域関係者) 広面町内も床上浸水56世帯、床下浸水と合わせると120世帯の被害だった。</p> <p>水害時の利用者の精神面はどうだったのか。また、以前は施設の外に利用者が出てたと思うが最近は見かけない。</p>

協	(地域支援課長) 昨年の水害時、偶然職員の配置人数が多く2階への垂直避難はスムーズに対応できた。サポートセンターから離れているGHあすかやサテライトの方まで行くことが難しく園の協力を得て対応した。避難した入居者様は特別大きなトラブルもなく一晩過ごした。個室対応ができなかったことで不便な思いはしたかもしれないが翌日には戻ることができたので大丈夫だったと思われる。
	外出については特に制限していない。入居者様は、しまむら、ジェイマルエー、ドジャース等によく買い物に出掛けている。支払いが少し難しい入居者様へはお財布に釣り銭を戻してくれるなど、店側からも良くしてもらっている。できなかったことができるようになったり、近所の方から声を掛けてもらったり、入居者様にとって良い経験になっていると思う。
	(地域関係者) なかいちに行ったりと話があったが、移動はどうしているのか。
	(総括主査) 普段からバスを利用して職場等へ通っている方は自分で出掛けている。移動が難しい方は職員が付添い、車で行っている。
	(地域関係者) 介護度「6」は初めて聞いた。
	(地域支援課長) 介護保険では要介護「5」まで、障害福祉サービスでは支援区分「6」までである。
	区分の数字が同じでも判断する内容が違うので同じではない。システムが違う。
	(福祉関係者①) 現在、ひだまりサービスセンターへGHから女性2名が利用されている。GH結の世話人の対応が非常に丁寧で情報共有もされており、支援が行き届いていると感じる。利用者さんの表情からも普段から安心してGHで生活しているという印象である。水害時、ひだまり(アルヴェ)は営業中であったが利用されていた2名の方については自宅へ送迎できず1泊した。ひだまりは日中支援のみのため備蓄食料はなく、アルヴェは災害時の避難場所になっているが当日は食料は届かず、避難してきた人達も毛布のみで過ごした。コンビニも食料は直ぐに売り切れ、急遽、厨房から食べられるものを出して対応した。
	秋田市の物資の供給も追いつかなかったと思われるが、職員同士で連携を取り必要物資を届けるなど非常に苦労した。
	内 容

協	と聞いた。
	(管理者) 今回の会議の趣旨でもある。隣近所のちょっとした働きかけ、声かけによる相互扶助、遠くの親戚よりも近隣の親睦、今回の会議の本質はそこである。
	(地域支援課長) 水害時の城東中、アルヴェの話は初めて伺った。避難場所をアルヴェで計画しているがトイレのこともあり悩んでいる所である。実際にアルヴェの駐車場に車を避難させたが、なかなか現実と紙面での計画の違いを感じたところであった。
	最近ひだまりサービスセンターの利用を開始した入居者様で、周囲が驚くような変化、新たな一面が見られた。これからも情報共有をお願いしたい。
	(福祉関係者②) クリーンアップについて、定期的に行うことで『いつも綺麗にしてくれてるから何かの時に自分たちも助けよう』という風になる。クリーンアップは相談支援の会議等でもよく話題になり、地域の人に知ってもらう良い機会だと思う。
	医療的ケアの必要な利用者さんが広面に住んでいたが、秋田大学病院も水没して行く所がなく、医療療育センターの医師に直接連絡を取り対応した事があった。
	今年も水害となる危険な時があったが、顔の見える関係を作ることで受け入れもスムーズになるし、先々を見越した行動をすることが大事だと感じた。
	経営に関してはどこも大変な部分はあると思うが、相談支援としてGH希望者がいれば声をかけたいと思う。
内	(市町村担当者) 他施設より先駆けて会議を実施したことに感謝したい。会議を開催する上で資料の作成など大変だと思うが今後ともよろしくお願いしたい。
	災害のことだが、実は自宅が広面で床上浸水の被害を受け東部市民サービスセンターへ避難した。避難所の指定を受けていたため備蓄食料や毛布があった。
	市の防災計画は見直しをかけ、前回よりは早めに対応できる体制になっていると思われる。
	(管理課長) 規模の大きな施設・GHに関して避難する先がないという問題があり、秋田市の防災対策安全課と障がい福祉課と三者協議を行った。昨年度の段階で、本体施設及びGHの避難所の開設は想定していないと正式な回答があった。避難する先がないため、今年度、本体施設は秋田赤十字病院と新たに避難協定を締結した。GHも想定していることから備蓄関係は全て準備している。利用者だけではなく職員もセット
	である。行政側では避難所で生活するバックボーンは想定していないという回答で
容	

協

あり自分たちだけで何とかしなければならない。障がいのある方に関して、有事の際のリスクマネジメントは行政でもなかなか追いつかない現状だと確認した。障がい福祉課から働きかけてもらったが、その後、防災対策安全課での検討が進んでいるのかを確認していただきたい。

(管理者) 地域の皆さんのご理解を得ながら相互扶助の気持ちで歩むGHです。ちょっとした支え合いが非常に大事。GHを守りながら、しいては皆様にご理解をいただきながら進めていきたいと思う。 本日は本当にありがとうございました。

議

5. 事業所視察 ※別紙参照

視察後に、ご意見ご感想を所定の用紙に記載していただいた。

今回欠席の保護者代表は、後日（10/10）に事業所視察を実施した。

6. その他

特になし

以 上

内

容